

2023年度
スローガン

JAYCEEとして 地域の青年として 仲間と共に未来を創ろう

2023年度 外報紙



10月例会

10月21日(日)

長野県埋蔵文化財センター 長野本所

謎解きイベント

『しの丸が書いた謎の書編』in 篠ノ井

企画担当 ■ 令和まちづくり推進委員会

二〇二三年十月二十一日、篠ノ井駅周辺にて(公社)南長野青年会議所十月例会 謎解きイベント『しの丸が書いた謎の書編』in 篠ノ井を開催いたしました。

本例会は、メイン会場を長野県埋蔵文化財センター長野本所にて、しの丸からの挑戦状(なぞの書)を解読する形式でゴールを目指すというものでした。なぞの書は書の街、篠ノ井を題材として、各所に設置されたなぞの書を解読するため

に設けられたポイントをめぐる、篠ノ井の街並みを巡りながら挑戦していただきました。

また篠ノ井高校生による書道パフォーマンスを実施していただきました。大きな半紙に描かれた書は美に雄大で心を惹くものでありました。このパフォーマンス



スで書いていただいた大きな半紙はモト・ウィラ・コバヤシ様の三階部分に外から見えるように展示させていただきました。多くの皆様に篠ノ井の書も魅力を伝えられたと感じます。

篠ノ井が書のまちとして、今後人々にその魅力に触れる機会が多くなることを、切に願います。



また、篠ノ井が「書のまち」ということが、意外と知られていなかった事に驚きを感じました。このような先が不透明な変化の時代であるからこそ、地域の過去を見つめ直し、地域の偉大な先輩より多くの事を学び、今の人々の協力した行動が今後の地域を創出していくという根本を見つめ直す機会となりました。

この地域にはまだまだ知られていない人や物がたくさんあるかと思えます。ぜひ、お時間ある時に地域を見つめ直して頂ければ幸いです。

最後となりますが、本イベントに参加していただきました皆様、ご協力をして頂きました関係者の皆様には、感謝を申し上げます。

委員長所感

小林 陽祐

十月二十一日に書のまちしの丸を題材としたイベントを開催させて頂きました。本事業は地域の魅力を発信し、特色ある地域を創る事がこの地域に多くの人を呼び込む一助になるのではと考え企画させて頂きました。皆様が、住んでいる地域以外へ行かれる際、多くの魅力的な物や人を目的にその地を訪れるかと思えます。我々が住んでいるこの地域にも多くの尊敬すべき偉人の方々がいっぱいいます。その中のお一人に、川村驥山先生がいっぱいいます。イベントを楽しむ中で参加者の皆様がこの地域に残された関係する物に触れ、知っていたく事が出来た事は今後に繋がっていくのではないかと思います。

JCI 公益社団法人南長野青年会議所 2023年度 10月例会

謎解きイベント
しの丸が書いた
謎の書
編
in 篠ノ井
謎は謎を解いて
ゴールまでつなげるか

参加無料

開催日：10月21日(土)
応募期間：10月18日~11日
会場：長野県埋蔵文化財センター 長野本所
参加人数：長野市及び周辺に在住の方
100名、最大21名
(1チーム5名以内)

応募方法：長野県埋蔵文化財センター 長野本所
募集場所：長野県埋蔵文化財センター 長野本所

12:30 開会式

13:00 謎解きスタート

15:00 謎解き終了

16:00 閉会式

17:00 懇親会

18:00 解散

19:00 解散

20:00 解散

21:00 解散

22:00 解散

23:00 解散

24:00 解散

25:00 解散

26:00 解散

27:00 解散

28:00 解散

29:00 解散

30:00 解散

31:00 解散

32:00 解散

33:00 解散

34:00 解散

35:00 解散

36:00 解散

37:00 解散

38:00 解散

39:00 解散

40:00 解散

41:00 解散

42:00 解散

43:00 解散

44:00 解散

45:00 解散

46:00 解散

47:00 解散

48:00 解散

49:00 解散

50:00 解散

51:00 解散

52:00 解散

53:00 解散

54:00 解散

55:00 解散

56:00 解散

57:00 解散

58:00 解散

59:00 解散

60:00 解散

61:00 解散

62:00 解散

63:00 解散

64:00 解散

65:00 解散

66:00 解散

67:00 解散

68:00 解散

69:00 解散

70:00 解散

71:00 解散

72:00 解散

73:00 解散

74:00 解散

75:00 解散

76:00 解散

77:00 解散

78:00 解散

79:00 解散

80:00 解散

81:00 解散

82:00 解散

83:00 解散

84:00 解散

85:00 解散

86:00 解散

87:00 解散

88:00 解散

89:00 解散

90:00 解散

91:00 解散

92:00 解散

93:00 解散

94:00 解散

95:00 解散

96:00 解散

97:00 解散

98:00 解散

99:00 解散

100:00 解散

JCI-KOREA西大邱訪韓事業

担当：国際交流室

10月27日(金)・28(土)・29(日) 大韓民国 西大邱市

二〇二三年十月二十七日(金)・二十八日(土)・二十九日(日)、(公社)南長野青年会議所「JCI-KOREA西大邱訪韓事業」を行いました。本年度、韓国、JCI-KOREA西大邱との姉妹締結四十周年を迎えました。コロナ禍以前は、毎年訪日・訪韓事業を行い交流を深めてきました。

本年度は四年ぶりの訪韓事業となります。式典を含めた二泊三日の行程の中で、今後を見据えた交流を行ってまいりました。

本年は訪日事業が中止となり、訪韓事業も中止の危機に直面しておりましたが、西大邱青年会議所の希望もあり、訪韓事業が実施されました。南長野青年会議所からは、代表者五名が韓国に赴き、西大邱青年会議所四十九周年記念式典に参加し、その後西大邱青年会議所のアテンドのもと西大邱を中心とした観光を行い、その文化に触れることが出来ました。今後とも時勢に左右されない悠久の友情が続いていくことを永久に願います。



副室長所感

藤岡 秀一

本年、十月二十七日(金)・二十九日(日)の三日間、私たち公益社団法人南長野青年会議所の姉妹JCであります西大邱青年会議所との交流事業に参加致しました。実に四年ぶりとなる訪韓事業でしたが、ペ・ジホ会長を初めと致します西大邱青年会議所メンバーの手厚い歓迎のもと盛大に開催して頂きました。初日ではルーム訪問、歓迎懇親会。二日目には大邱観光。そして西大邱青年会議所創立四十九周年式典に参加致しました。初めて訪韓するメンバーもありましたが始まってみればすぐに意気投合し、お互いに話尽きぬ素直な交流をさせて頂きました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、お互いに直接顔を合わせての交流が叶わない期間はありませんでしたが、両青年会議所には例年と変わらぬ熱い「友情」がある事を改めて感じました。そして本年二泊三日の旅でしたが西大邱青年会議所皆様の「おもてなし」の心に深く感謝を致します。

来年二〇二四年度はキム・ヒョンジン君が会長となります。訪日・訪韓ともに本年よりさらに熱く素晴らしい交流事業が出来る事を今から楽しみにしております。

委員会事業

ワールドフェスタin長野二〇二三への協力

担当：国際交流室

11月3日(金)祝 セントラルスクウェア

二〇二三年十一月三日(金)、(公社)南長野青年会議所「二〇二三年度委員会事業「ワールドフェスタin長野二〇二三」への協力を行いました。本年は韓国、西大邱青年会議所との交流事業でいただいた記念品の展示のほかに、五年ぶりに振る舞いを復活致しました。振る舞いには韓国にておやつとしてなじみの深い、ホットクを百八十食用意させて頂いていただきました。多くの方が訪れていただき、ホットクがなくなってしまうだけでなく、展示物に関しても興味を持っていただき、南長野青年会議所と西大邱青年会議所の交流の歴史を多くの方に発信することが出来ました。また本年も萩原市長に南長野青年会議所の展示にお越しいただき、その西大邱青年会議所からいただいた記念品をご覧いただきました。様々な困難がありながらも交流が続いてこれたのは、先輩諸兄弟姉妹の活動の賜物であり、西大邱青年会議所と南長野青年会議所、その姿勢は世界の時世に左右されない悠久なものであると感じます。



2023 Pick Up!
新入会員 No.3



古川 諒一

34歳

2023所属委員会
令和まちづくり推進委員会

会社名 スマイルクリーン

会社事業内容 清掃業

初めまして。南長野青年会議所の古川諒一といいます。私は、レンジフードやお風呂やエアコンなどを中心としたお掃除全般の仕事をしております。毎日「汚れ」との格闘ですが綺麗になった時に、お客様から「こんなに綺麗になるなんてありがとうございます!」と言われると、とても嬉しく、大変でも毎日頑張れます。私は昨年開業したのですが、修行時代の会社の社長から、JCの存在を教えていただきました。私自信が千曲市出身と言う事もあり、JCでの活動が南長野という地域を知る良いきっかけになると思い加入しました。今年は、仕事もJCも初めての事ばかりになる1年になるとは思いますが、頑張りたいと思います!

11月例会

『MNJCパワーアップ!! 2023 in TOGAKUSHI』

企画担当 ■ 国際交流室 ■

11月11日(土) 戸隠神社付近

二〇二三年十一月十一日(土)、戸隠にて、十一月例会『MNJCパワーアップ!! 2023 in TOGAKUSHI』を行いました。

当日は戸隠観光センターより、徒歩にて鏡池、九頭龍社、奥社、中社とめぐり、その道中においても、観光案内を受け、戸隠の魅力、そして神域の力がどのようなものか教えていただきました。参拝の際も皆で手を合わせ、各々これからの日々が良いものであることをお祈りすることが出来ました。道のりは約十キロメートルという、普段運動不足のメンバーにとって、中々きつい距離であり、普段からの運動の大切さも学べるという例会になりました。是非皆様も戸隠の地の魅力と、普段運動から離れてしまっている方は、運動不足解消として訪れていただきたいと思います。



副室長所感

児島 翔

十一月十一日(土)に戸隠において十一月例会『MNJCパワーアップ!! 2023 in TOGAKUSHI』が行われました。今回の例会では日頃の体調管理や体力作りの大切さを理解する例会ということで、戸隠神社付近でトレッキングを行いました。一般的な統計によると、二十代以降から徐々に体力は低下するものの、四十歳前後までは筋力は維持され、五十代頃には急激に体力低下が起これと言われており、五十歳からの急激な体力の衰えを緩やかな低下曲線にする方法として、若い頃からの体力作りが有効であるため今回この様な例会を実施しました。青年経済人として、また地域のリーダーとして自分の体力を知り、健康管理に努めて頂く事。そして、日頃の運動不足の解消、ストレス発散、仕事、家庭、JIC運動の両立においてもまず健康、体力が必要不可欠です。今後も沢山の事業を行っていく中で、改めて健康の為に体力作りの大切さを学びました。学生時代にスポーツをバリバリやっていた会員も、日々のデスクワークで運動する機会が少ないからか、トレッキング中ではあまり笑顔が見れなかった気がします(笑)。

そして、今回の例会目的はもうひとつ。『メンバー間の交流』いつもとは違う例会の雰囲気の中で、メンバー同士が和気あいあいとコミュニケーションを取りながら楽しいJICタイムとなる事。笑いあり、苦しい顔あり、喜んでる顔あり、とても有意義な例会であったと自負しております。

この例会を機にメンバー全員でより一層、仲間意識、一体感が生まれ会全体が盛り上がり上がっていきければ最高だと考えております。

12月例会

12月15日(金) まちの円居食の団欒 九十

第六十二期生卒業式

企画担当 ■ 令和まちづくり推進委員会 ■

二〇二三年十二月十五日(金)、まちの円居食の団欒 九十にて(公社)南長野青年会議所 十二月例会『第六十二期生卒業式』が執り行われました。本年は久保善幸君、穴倉啓太君の二名が四十歳を迎え、卒業となりました。同日執り行われました、二〇二三年度第三回通常総会にて卒業証書授与及び卒業記念品贈呈が行われ、九十にて本年度最後の卒業生を交えた会食とともに、卒業生それぞれからの、卒業にあたる思いのこもったスピーチを残るメンバーの前で発表していただきました。兩名とも南長野青年会議所に対する感謝、そして卒業後青年会議所活動で得たもので何を行っていくのか、そして残るメンバーに何をしてほしいのか、どのように行動してほしいのかをお話くださいました。青年会議所は四十歳までという期限付きの活動です。南長野の地において、地域を思う青年が集まり、各々の情熱を以って活動しております。そのメンバーが抜けていくことは、無事四十歳まで活動できた喜びとさみしい気持ちが入り交じり合う例会でありました。

久保善幸君、穴倉啓太君、ご卒業本当におめでとうございませう。



12月15日(金)

長野商工会議所 篠ノ井支部 二階大会議室

第三回通常総会

担当 ■ 総務委員会 ■

二〇二三年十二月十五日(金)、長野商工会議所篠ノ井支部二階大会議室にて(公社)南長野青年会議所 二〇二三年度第三回通常総会が開催されました。本年最後となる通常総会では、第一号議案 二〇二三年度補正収支予算(案)承認に関する件、第二号議案 二〇二四年度事業計画(案)承認に関する件、第三号議案 二〇二四年度収支予算(案)承認に関する件、第四号議案 二〇二四年度出席義務に基づく会合基準開催数(案)承認に関する件と本年に関する事項よりも、次年度の活動に関する事項が多く上程され、無事全ての議案が可決されました。



君	秀	岡	藤
君	一	山	平
氏	太	山	米
氏	郎	山	山
君	君	原	榎
君	剛	田	飯
君	基	澤	酒
君	弥	井	兒
君	治	島	青
君	翔	木	古
君	充	川	小
君	諒	林	渡
君	陽	邊	上
君	行	條	兒
君	仲	島	渡
君	裕	邊	上
君	行	條	小
君	裕	林	山
君	祐	岸	
君	祐		
君	貴		
君			



二〇三三年度も年の瀬が近づき、次年度へバトンを渡す時期となりました。

このように一年に渡って、公益社団法人南長野青年会議所が様々な事業を遂行できたこと、そして私が理事長の職を全う出来たのも、日頃より我々の活動に携わってくれたすべての方々のおかげとこの場を借りて御礼申し上げます。

本年度は、「JAYCEE」として地域の青年として仲間と共に未来を創ろう」をスローガンに掲げました。南長野青年会議所のメンバーのみならず、日頃より我々の活動にご支援、ご協力いただいた関係諸団体の皆様、メンバーの家族の皆様、そして同じ地域に住まう住民の皆様すべてを仲間と捉え、共に未来を創っていく、という念いで一年間邁進してまいりました。

この一年を振り返ってみると「再開」の年であったと感じます。昨年の年初は依然としてコロナウイルスの影響があり、いつまで続くのだろうか・・・といった不安とともに幕が明けました。日本青年会議所を含め全国的に活動も自粛ムードがありました。しかし本年は一月の第一回通常総会をはじめ、すべての事業に前向きに活動でき、日本青年会議所としても、京都會議から全国大会まで制限のない事業展開を全うすることが出来ました。

青少年系事業として、わんぱく相撲では一〇〇人規模の参加登録をいたたき、コロナ禍以前の盛り上がりを見せました。また花火職人をお呼びしての職業体験事業では応募開始当日に定員に至るほど子どもたちに興味を持っていたけた事業でした。社会開発系事業では、地域

の魅力を発信する取り組みとして歴史的な文化や建造物に触れることでその地域に根付いた魅力を発見、又は再認識していただくことで、より地域に愛着を持ってもらう事業を展開しました。



北川市博物館 理事 加藤 隆志氏



理事長 平山 亮太

また国際交流系事業では本年で韓国 JCI KOREA 西大郎との姉妹締結四〇周年を迎えることが出来ました。訪日事業に関しては、西大郎 JCI 会長のご都合により急遽中止となってしまいました。が、訪韓事業では、実に四年ぶりの対面交流を果たしました。改めて民間交流の大切さや JCI としての繋がり、四〇年の交流の絆の深さを感じました。

J C 活動はただ参加するだけではなく、そこで学んだことを踏まえてのよう
な発信をするか、が大事であると私は
思います。コロナ禍では、その参加する
事業自体が縮小されていましたが、本年
は前述の通り、対内・対外の全てで制限
なく活動できたこと、そのタイミングで
理事長として可能な限りの事業にメン
バーと共に参加できたことは何より得難
い経験となりました。

二〇二四年度のスタートも目前となりました。私もまだまだ現役の身です。理事長の経験を生かして今後の活動に邁進していきます。会員数も減少していく中ですが、青年らしく英知と勇氣と情熱を以って新たな挑戦に全力を注いでまいります。皆様様に置かれましてはこれまで以上のご支援ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

平素、南長野青年会議所を応援いただき誠にありがとうございます。早いもので本年も十二月の歳の瀬となりました。外報紙「かがり火」も本年最後のVOL. 3となります。

九月、十二月も南長野青年会議所は多くの事業を行ってまいりました。記事を書いておきますと、ここまで行つてまいりました事業が昨日のことのように思ひ出されまゝです。理事会、委員会での議論、事業の準備から、例会当日慌ただしさ、参加者の笑顔メンバーの笑顔と議案上程から事業当日まで二か月、三か月の時間があるはずなのに、あっという間に終わってしまったという感じです。

二〇二三年は慎み深く、その行動力と情熱を持った平山理事長の「JAYCEEとして、地域の青年として 仲間と共に未来を創ろう」のスローガンのもと全力で活動してまいりました。この地に住まうものとしてJCCの一員として、南長野の一員として、多くの皆様に笑顔と感動を届けられた一年だったと感じます。そして二〇二四年ムードメーカーであり、飾らない大らかな人柄で、そして情熱を持った藤岡理事長のもと、より多くの笑顔を南長野の地に届けられるようにJCC活動に邁進してまいります。

私の編集後記も今回で七回目となりました。恐らく歴代の中斷トツ一位の回数ではなでしょうか。巡り合わせがあったとは言え、自分でもビックリです。七回も皆様に南長野の活動を伝えられるということとは南長野の会員として幸せなことだったと思います。

最後になります。本年一年誠にありがとうございました。二〇二四年度も皆様のご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い致します。

ありがとうございました。

総務委員会 上條 裕太



E-mail : minaminaganojc@mtg.biglobe.ne.jp

检索

かがり火のバックナンバーはホームページをご覧ください。

JAYCEEとして 地域の青年として 仲間と共に未来を創ろう